

ちば市のPTA



PTAってなに？ PTAはなぜ必要なの？

P arent	=保護者・親	P → <u>ぱ</u> っと
T eacher	=先生	T → <u>た</u> のしく
A ssociation	=つながり・団体	A → <u>あ</u> つまろう

チームの力で守り支える

学校って先生と児童生徒だけで成り立っている？ それは違います。保護者や家庭のサポートや協力が必要です。それもチームで。

わが子の安全を願い、わが子を守るのは当然ですが、わが子だけを守ればいいのでしょうか？ そうしたくてもできない家庭もありますよね。

どの子も笑顔で元気に通う楽しい学校にするにはチームでサポートしたほうが絶対に上手くいくのでは？ たとえば通学路の安全指導もその一つ。親が自分の子どもをいつも見守るのは大変だけど、PTAで分担し学校全体の子どもを守っているのです。また、PTAが地域と合同で行う見回りパトロールも、実は犯罪や事故の抑止力になっていることも多いのです。

子は親(大人)の背中を見て育つ

バザーなどの行事自体がPTAの目的ではありません。行事は、子どもたちも大人も笑顔いっぱい为学校をつくるという目的のための手段の一つです。保護者と教職員、保護者同士、みんながつながりサポートしていくから子どもが育つのです。子どもたちの学びの環境を良くし笑顔を守るために、PTAや保護者会の力が必要なのです。

そして、大事なそれはそれを「だれかがやるだろう・・・」の他人事ではなくて、**小さな力でもつながれば大きな力になるということです。**

皆さん！子どもは親の背中を見て育ちます。PTAや保護者会の仕事にプライド（誇り）をもって、仲間の輪を広げていきましょう。

大人が楽しめるPTA活動にするための一歩

でも役員選びはなかなか苦戦するようです。「役員は負担が大きい！」と敬遠されがち。「役員、やってもいいよ！」と言ってもらえるようなPTA活動にするためにPTAは何が大事なのか、そこから見直しを進めていきましょう。「無理せず参加でき、お互いさまの気持ちで協力し合えるPTA活動にする！」を目標に。

何だか大変みたいというイメージが先行したり、PTAがいったい何の役に立っているのかが意外と知られておらず、活動内容や会費の有益な用途も会員に全然伝わっていないため、ネガティブに受け取られていることもあるようです。もしその意義や役立ち情報をもっと伝われば皆の意識が変わるかもしれません。今、その改革に取り組み始めた学校がいくつかあります。次ページで一部紹介します。

大事ななのは **P** ぱっと **T** たのしく **A** あつまろう ですね。

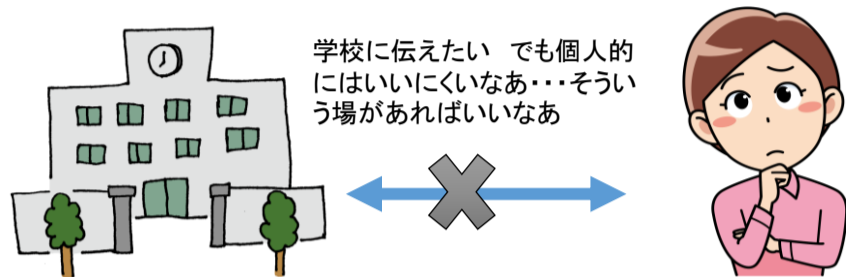
もしも P T Aがないとどうなるの？！ そうか だから 必要だったんだ…

保護者の負担は軽くなるかもしれないけれど・・・いろんなところに影響が・・・

PTAがあると保護者の意見を 学校に伝える機会が増える

保護者が学校側に子どもたちのためにこうしてほしいと思っても個人で意見を伝えるのは難しいです。PTAがあることで、学校側に意見を聞いてもらうことができ、対応してもらえます。PTAがなくなればそういう場がなくなり、意見を伝えにくくなります。つまり、PTAがあるから

学校と保護者の双方向のコミュニケーションがUP！



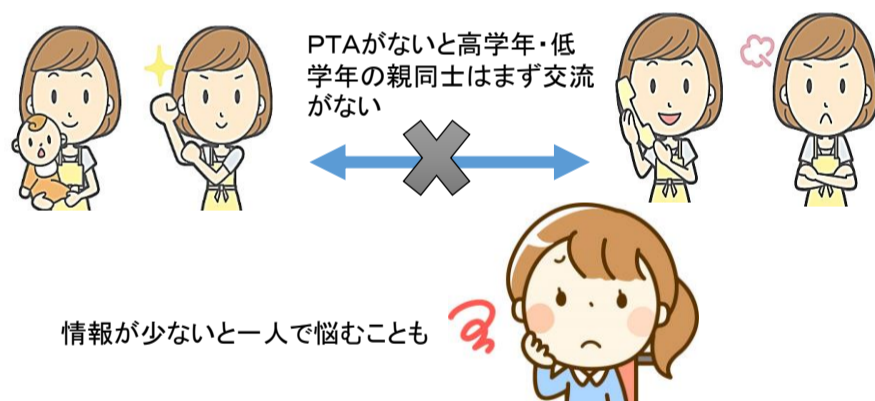
PTAのサポートがあるから 学校や先生たちが助かっている

学校側がPTAにお願いできていた「登下校の見守り、旗振り」「窓ふき・大掃除手伝い」などのサポートがなくなるとその分を教員が負担?!学校から全保護者にその都度お手紙を出して募集なんてことに。先生方は大変。PTAの組織的なサポートで教育現場が助かっています。支援がないと教員だけでは手が回らず、余裕がなくなり、ひいては子どもたちの教育に影響が出る恐れも。



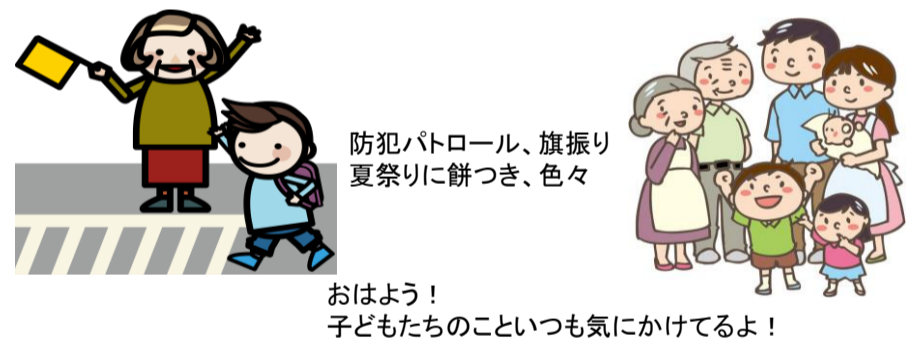
保護者同士で情報共有の場が増える

PTA活動で知らなかった人と気軽に話せるようになったという声をよく聞きます。異学年の保護者との交流や情報交換の場が自然にできます。子育て世代の共通の悩みや課題を保護者同士で話し合ったり、情報を手に入れたりできます。



PTAがあるから子どもたちを見守って くれる地域との支え合いができる

地域行事に参加するのは大変かもしれませんが、地域の方々が子どもたちの通学路の安全を毎日見守ってくれていたり、楽しい行事をしてくれたりすることを役員になって初めて知ったということもあるのでは?地域に感謝し、お互い支え合って暮らしている。そんな大人の背中を子どもに見せられます。



PTAがあるから他校との情報交換や 連携ができる

近隣校PTAとの情報交換や交流もですが、市P連や区P連のネットワークを通じて得られる情報や広いつながりができます。

市P連の「知ろう!話そう!PTA(役員研修会)」が毎回とても好評な理由も貴重な情報源だからこそ。

困ったら相談窓口があることも安心。他PTAからの災害時支援もなく助け合いからも孤立してしまいます。

他校とのネットワークができ相談窓口がある

PTAの組織力で 行政に要望するチャンスが増える

これまで市内のPTAで署名を集め、トイレ改修やエアコン設置など教育予算や環境改善の要望を直接届け実現してきました。もしPTAがなくなると区P連や市P連からの退会となり、要望が出しにくくなります。

他の学校がやってくれれば良いと皆が考えて退会すれば、市のPTA全体の組織の力が弱くなり、今までのように行政に要望を聞いてもらえなくなります。

つまり、PTAには保護者と学校と地域が連携し、
子どもの教育や安全を見守るという目的があります。

主役は子どもたち！それを大人たちがつながって支えていくのがPTA。

上の資料は令和3年に統合を控えた若葉区の大宮小学校PTA本部役員の皆さん(総務)が知恵を絞り、校内外に作成・配布した「PTAを考えよう!Vol1~3」の一部を抜粋、引用したものです。

千葉市P連では、この資料のように他校PTAにも活用していただけるリーフレット、ポスター、DVDを作成するために特別委員会で検討しています。お問い合わせは市P連事務局まで

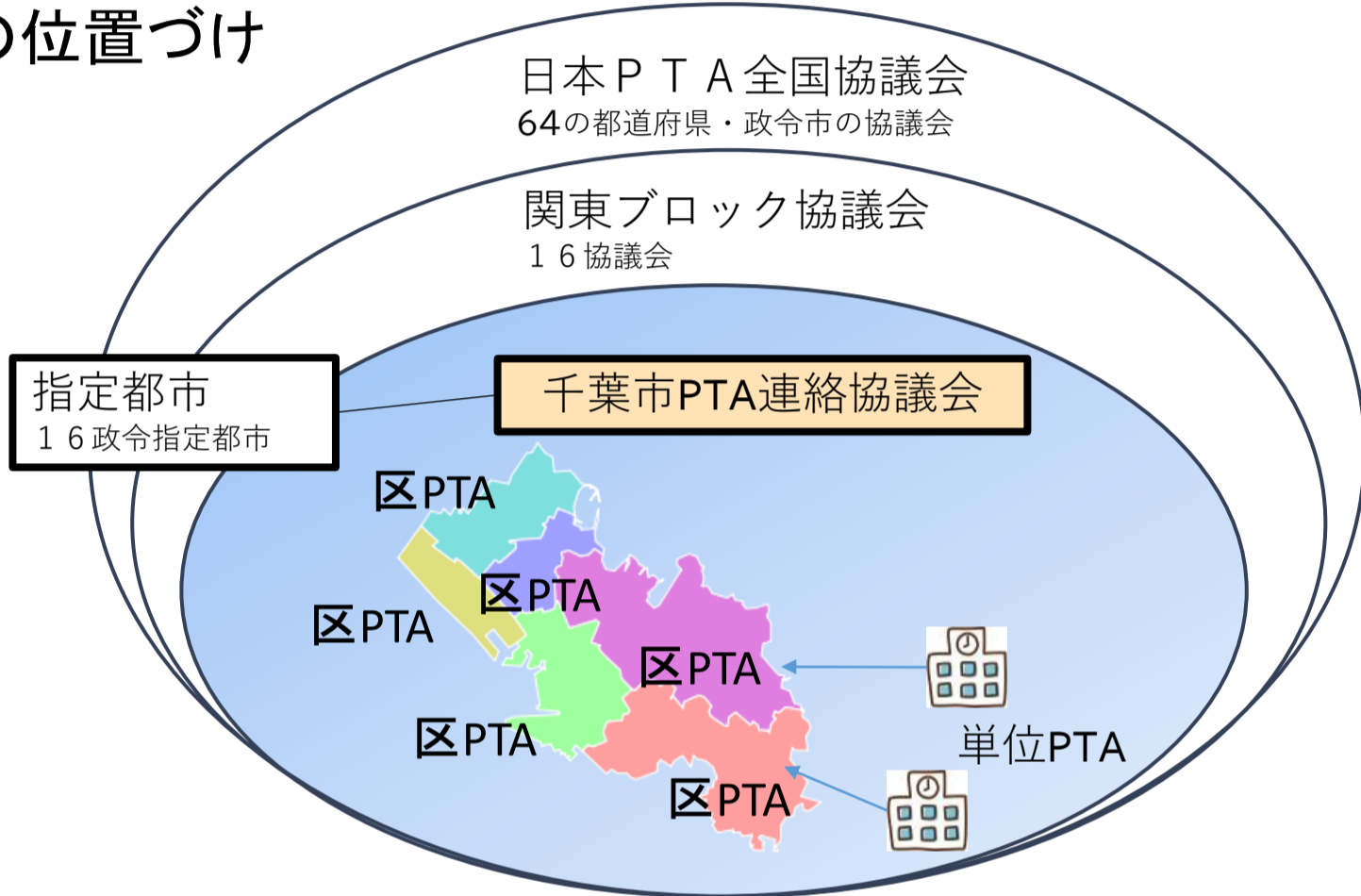
市P・区P丸ごと理解 会員の皆様の疑問にお答えします



区P・市Pって私たちから遠い存在・・・
よくわからないけど聞けないし・・・

- 単P = 単位PTA 各学校のPTAの略
- 区P = 区ごとのPTA連合協議会の略※美浜は連絡会
- 市P = 千葉県PTA連絡協議会の略
- 日P = (公社)日本PTA全国協議会の略

市P連の位置づけ



区Pって何しているの？

6つの区は加入校数も違い、それぞれ特色があります。どの区Pも単Pが協力し合って連携を深めています。単Pの活動がよりよいものになるよう情報交換したり、バレーボール大会で親睦を深めたりしています。また、講師を招き研修会を実施している区もあります。市P連からは研修補助として1万円を、バレーボール実施区Pには2～6万円を補助しています。安全互助会からも各区に2～11万円を助成し活動を応援しています。令和2年度は区Pへの補助金額を増額しました。

市Pの役員ってどんな人になるの？

役員会は会長と各区Pから選出された副会長6名、書記2名、会計1名、監事1名（任期は区により1年か2年）これに、校長会から副会長2名、監事1名が加わります。教育委員会からと常置委員会と特別委員会の代表と事務局がオブザーバー参加します。年12回程度開催。市P連は区Pの活動をさらに発展させているので各区から選出された代表が役員となって運営しています。

市P理事会って何しているの？

理事会は年5回開催しています。定期総会に次ぐ大事な会議です。各区から区P会長を含む3名が理事として集まり、市P役員と話し合い、情報交換をしています。市P連と区P連をつないでいるのです。その内容を理事は区に持ち帰り、フィードバックしていきます。各区共通の課題やその対応などについて貴重な情報交換の場となっています。過去には2つの区で合同研修会の話が出るなど自然と区と区の協力体制も生まれました。

市Pの役員になったら出ることが多くて大変なの？

月1回の役員会や年5回の理事会に参加しますが、調整できないときは欠席もOKです。そのほか会長と副会長を中心に教育関係団体の会議に委員として参加しています。初めはドキドキ緊張しますが「個人」ではなく、「立場」で参加しているので大丈夫です。普通では参加できない市の重要な会議に出てどんどん経験を重ねていくうちに視野広がり、自分も成長していったという声も聞かれます。もちろん無理なく役割を分担していくのでご心配なく。

PTAのあゆみ

PTAは子どもの幸せを願い健全な育成を図るために組織され、保護者と教職員が協力し合い、ともに学び共に活動する「社会教育関係団体」です。戦後全国各地で結成され、我が国で最も普及した社会教育関係団体であり、発言力も大きいのです。

千葉市P連は昭和27年6月1日設立。千葉市が政令指定都市となり平成5年に千葉県Pより独立。令和4年度には70周年を迎えます。

市P連の事業紹介

～こんなことをやっています！～

市P連研究大会



研究大会は年に一度会員が一堂に集う、感動体験と学びの場です。せっかくの機会なので単Pや区Pの予算ではなかなかお呼びできないような講師の講演を聴くことができます。

2020年は ペップトークの日本での第一人者 岩崎由純さんの講演
「やる気を引き出す魔法の言葉」～あなたは「言葉の力」を信じますか？～
部活の試合や入試に向かう子どもにどう声掛けをするか、
子育て中の悩みのあるあるに解答のヒントがいっぱいの講演です。

2019年は 関東ブロック研究大会で教育評論家 尾木直樹さんの予定でしたが台風のため中止

2018年は 的場亮さん「一瞬の感動を人生のきっかけに」
ご自身の挫折、山あり谷ありの経験に裏付けられた説得力のある講演でした。

2017年は 弓削田健介さんのコンサートで感動と涙。子どもたちにも聞かせたいと、この後、周年行事の記念事業に弓削田さんをお招きした単Pも何校かありました。

市P連では 心に響く記念講演を開催しています。 会員の皆様ならどなたでも無料で参加できます。

知ろう！話そう！PTA！



毎年報告書も配布しています

市P連の事業で最も人気があり毎年高評価をいただく講座です。

「本部役員になったけど心配。他校ではどうしているのかな？」などグループ協議で情報交換や相談ができる研修会です。今年度はコロナの影響で延期しましたが2/19.20 千葉市生涯学習センター大研修室にて開催予定。



「本当に聞きたかったPTAの悩みごと」(Q&A集)

市P連特別委員会「あり方委員会」で作成したPTAの悩みごとの冊子です。H29年度に各学校2冊配布。朝日新聞にも特集で掲載され全国から問合せが集中したため、HPに全ページPDFで掲載。無料公開中。

QRコード→



PTA学級補助金～単Pの学びの場をサポート

市P連の研修費から補助金を出しています。単Pの研修活動をサポートするために申請があれば、1校3万円まで補助。年間4校まで応募受付中。助産師さんをお呼びして「いのちの学級」開催や、周年行事の講師をお呼びする補助にも使えます。

市P連から発信中！

- 広報紙 **市P連ちば** を年2回全会員の家庭へ配布
- **市P連ニュース** 理事会の内容とお知らせを掲載。 学校に3部配布 PTA役員向け
- **市P連のホームページ** タイムリーなお知らせを掲載。現在リニューアル更新中



市P連の事業紹介

～ご存知ですか？～

どちらも市P連加入校のPTA会員のみに入れる お得な保険です

安全互助会 (団体保険)

PTA活動中の事故も安心

1世帯120円×世帯数で加入でき、学校ごとの申し込みです。

120円のうち保険料は91円です。

バレーボールなどPTA活動中に起こりがちな事故対応のほか、新たに加わったのが、まさかのトラブルへの弁護士紹介や相談窓口、バザーでの食中毒等。

とても内容が充実しているので、安心してPTA活動が行えます。

また、会費29円を集めて予算とし、区P連の活動に助成金を渡しています。令和2年度は各区加入校×5000円を助成します。

災害・事故発生時に保険適用が難しいケースでも申請していただければ見舞金制度もあります。審査あり。

小中学生総合生活保障制度

子ども向けの保険で安心
(児童・生徒対象)



会員の皆様のお子様を守る保険です。損保ジャパン（パンダの表紙）とAIG損保の2社を推薦しています。

同じ補償内容の保険に個人で加入するより割引が大きく断然有利です。市P連加入校の会員の特権として、AIGは22%割引、損保ジャパンは15%割引。来年からは合算し30%近く割引率がアップする予定です。しかもコロナウィルス等感染症の保障も手厚くなります。

千葉県では令和3年4月から条例改正で自転車に乗る際に保険加入が義務となるのをご存じでしょうか？この際に加入をご検討ください。

★★ ご注意ください！★★

加入したら卒業まで自動継続することができ、学校が市P連を退会したら継続できなくなります。詳しいパンフレットは新入生説明会や年度当初に在校生にも配布します。

今年は中止になりましたが、こんな事業もやっています

市P連バレーボール大会

各区から勝ち上がった代表2校が参加し、毎年ラリーの応酬と熱戦が繰り広げられます。これまで42回開催しています。残念ながら今年度は中止です。千葉公園体育館で9月末～10月開催です。

新年情報交換会

加入校の学校代表とPTA代表が一堂に集まりテーマに沿って話し合うイベントです。参加者総勢320人。

残念ながら今年度は中止です。

毎年1月末に東京ベイ幕張ホールにて開催。

広報担当者講習会

初めて広報委員になったけどどうしよう。広報紙づくりはどこに相談すればよいの？にお答えし、サポートする研修会です。2019年は2日で107人参加がありました。広報紙コンクール上位の広報紙の展示もありとても参考になります。今年度はコロナウィルス感染拡大のため中止。次回は2021/5/7 千葉市民会館特別会議室にて開催予定。



市P連加入のメリットって何？

広いネットワークを生かした
相談の場、学びの場、情報提供がある



単Pで問題が起こった時会長や役員だけではどうしていいかわからない。そんな時も相談し、広い視野で考えて判断できたり、支援やアドバイスができるのが市P連です。

単Pの会員の皆さんが困ったとき、悩んだ時の相談窓口として機能する場所でありたいと考えています。

役員研修会「知ろう！話そう！PTA」などの場があり、他校と情報交換でき違いを知ったうえで自校での活動に活かします。

時間がない中、子どもたちのためにPTA役員を引き受けてくださっている皆さんへ今、特別委員会では、「Q&A集」のように、聞きたいことがすぐわかる情報提供を目指して、どの学校でも使いやすいポスターやDVDなどを製作中です。

組織の力を生かし 教育条件改善要望ができる



子どもたちの未来のために教育予算拡充要望の署名を他団体とともに、熊谷市長に直接提出しています。今年度は加入校から1000筆を超える署名にご協力ありがとうございました。コロナ対策支援のほか、エアコン設置・洋式トイレ工事等これからもどんどん要望していきます。市内43000人が所属する団体だから、一人一人の力は小さくてもつながることで大きな発言力となり、声が届きます！

教育関係の重要な会議に参加・参画している

「学校教育審議会」は市民や学識者の意見を反映し、市の学校教育の施策を決める重要な会議です。この委員に市P連副会長が委嘱されており発言できます。そのほかにも青少年問題、給食センターなど約20団体の「委員」として参加し、PTAとしての立場で意見や要望を直接伝えています。



市教育委員会や校長会等との強い絆がある

月1回の市P役員会には、教育委員会代表と校長会代表が毎回出席しています。本年度は新型コロナウイルス感染症への学校の取組や対策などいち早く情報をもらいました。また、総会、研究大会、新年情報交換会には市長・議長・教育長・校長会長が臨席されエールをもらっています。

加入校の会員だけ入れるお得な保険がある

P 5 に掲載した安全互助会と割引率の高い小中学生総合保障制度（2社）の保険に入れます。



まさかの時の支援が受けられる（災害時の相互扶助）

何かが起きた時（東北・熊本大震災など）、相互扶助により日本中のPTAからスピーディーで長い支援が集まりました。行政ではなかなか届かない部分、就学援助などPTAの支援に感謝する声も多数ありました。令和元年には台風被害が大きかった単Pに市P連独自で災害見舞金を給付しました。今年度はコロナ禍で対応が大変な各単Pの支援のために、活動支援金として1校1万円ずつ給付することが決まりました。

